

コロナ時代における ZOOM による遠隔授業のあり方 —1年生必修キャリアプラン入門を事例として—

矢部拓也

徳島大学総合科学部

1. はじめに

コロナにより、総合科学部1年生約180名必修のキャリアプラン入門は、ZOOMによる遠隔授業を行うことになった。報告者は、これまでZOOMによる遠隔授業の経験はなかったが、試行錯誤を加えながら遠隔授業を実施した。従来のキャリアプラン入門は、ゲストスピーカーによる先人の経験談の共有がその中心であったが、コロナ時代はこれまでの社会の前提が大きく変わってしまったために、先人の成功談自体が陳腐化し、歴史となったので、そのまま授業を行うのは憚られた。

緊急避難的な処置での遠隔授業であるといえ、対面授業の置き換えではなく、遠隔授業ならではの良さがなくては学生の不満が高まり、また、「キャリアプラン」という看板に偽りがでてしまうと考へ、急遽、コロナ時代に対応した授業内容に変更をしていった。動画での顔出しを前提とし、毎回のブレイクアウトセッションで鉄板の自己紹介が出来るようになる。また、授業内容も大幅に変えて、中高年の社会的成功者の単独講演ではなく、20代の卒業生2名とその上司的ポジションの人物を呼び、ショートスピーチとその後の鼎談形式の授業に変更した。

本報告では、2020年度前期に実施した、コロナ時代に対応したキャリアプラン入門の実践報告を行うことで、本年度の状況を踏まえた、次年度のコロナ時代に対応したキャリアプラン入門の授業内容を提示したいと考えている。

2. もともとのキャリアプランのシラバス

本授業は、すでに退職した、葭森先生（元評議員）、平井先生（前学部長）が中心に開発したプログラムである。私が担当になるまでは、葭森先生、

平井先生に加え、当て職的に、現学部長の栗栖先生が担当していた（栗栖先生は現在も担当）。

授業の多くは、学外のゲストスピーカーをお呼びして、学生にその体験談などを話す形式であったが、単に学外スピーカーが話すだけだと、学生の興味関心が持てないことが多いため、ゲストスピーカーに講義内容と関連の深い研究をしている教員が1回の授業ごとに呼ばれるようになった。私は、現在、広報担当の副学長に就任している田村耕一さん（当時、徳島経済研究所・庶務理事）が「地域の活性化を考える」というテーマで報告する際に、呼ばれるようになった。田村さんと私はともに NPO 法人新町川を守る会のメンバーであり、NPO 活動を通じて懇意であったこともあり関わるようになった。

3. コロナ以前のシラバス

葭森先生、平井先生の退職に伴い、栗栖先生に加え私と法律経済コースの柴田先生が引き継ぐこととなった。当然、我々二人は、本カリキュラムの設置審に関わっておらず、その設計思想も共有していない。加えて、キャリアプランを専門にしている教員でないことだけは確かであるが、ほとんどの講義をゲストスピーカーが担当する仕組みであるために、実際にはそのコーディネートを行うのが役割であり、単に引き継ぐだけであるなら誰でも対応が可能である。

引き継ぎ1年前から、担当でないにも関わらず授業に参加することとなったので、担当になった際、私の判断で一部の授業を取りやめ、当時はCOC事業が始まったので、中小企業家同友会と連携し、徳島の企業家のスピーチを多めに取り入れた。

【2020年度キャリアプラン入門シラバス】

- ①授業の狙い
- ②「ブラックバイト対策」「創新センターの紹介」「徳島元気印イノベーションプログラム」
- ③巣立ちプログラムとWebポートフォリオ
- ④適性検査の結果返却とレポートの見方
- ⑤総合系学部卒業のキャリアを活かすには
- ⑥裁判員裁判と裁判所職員の仕事(徳島地方裁判所裁判官)
- ⑦⑧⑨地域経済と中小企業(徳島県中小企業家同友会・ゲストスピーチとWS)
- ⑩求められる社会人基礎力
- ⑪マスコミの社会的役割
- ⑫大学院で学ぶこと
- ⑬公務員の仕事
- ⑭次代の若者へ、仕事を創造すること
- ⑮キャリアデザインを考える。+アンケート
- ⑯総括授業(試験)

4. コロナ後に改編した実際の授業

約180名の授業のためにコロナ対応として、定員以上の大教室を予約していたが、コロナ状況を考えて対面授業は不可能と判断した。第1回目の授業段階では、ZOOMでの授業をするかまでは決定しておらず、ひとまずは、manabaにシラバスを示し、興味のある授業について記述してもらおうオンライン授業でしのいだ。

Manabaに課題を示し、オンラインで回答してもらおうといった授業方法もあり得たが、本授業が1年生の必修であるということ、また、キャリアプラン入門であることから、コロナ時代に対応した授業を行うことが必要であるとの結論になり、ZOOMでのライブ授業を行うことを決定した。ただし、担当教員の経験がなかったので、当初は、連休明けの5月13日ぐらいまでは休講にし、その間にやり方を考えようとしていたが、本授業で毎年、イノベーション教育の広報をしており、イノベスタッフから本年度も広報をしたいとの連絡を受けたので、急遽、スケジュール通りに授業を行うことし、第2回目で初のZOOMでの授業を実施。イノベーションセンター職員&イノベメン

バーの工学部大学院生の前田君のホストで、ひとまず授業を敢行し、やり方を彼らから学んだ。アカデミックライセンスで行えば人数制限がないものであると思っていたが、実際には特別な登録をしなくては100名しか入れず、1回目は半分の受講生しか入れなかった。その後、有料版にバージョンアップし、全員が入れるようになり、その後、学部でアカデミックライセンス購入に至る。

以下が実際の授業内容であるが、報告当日は、どのような工夫をしながらZOOMでの授業を行っているかも含めて報告を行う。

【2020年度前期の実際の授業内容】

- ①4月15日(水) ガイダンス manabaのみ
- ②4月22日(水) イノベでZOOM ZOOMの制限があり100名しか入れず
- ③4月29日(祝・水) ZOOMに再チャレンジ
- ④5月13日(水) 遠隔時代のキャリア形成の基礎 ZOOMを使った鉄板の自己紹介をつくる ブレイクアウトルームで、5人の少人数で、鉄板の自己紹介を作るのと、質問力を鍛える
- ⑤5月20日(水) 適性検査・問題解決力測定 GPS-Academic (ベネッセテスト・オンデマンド)
- ⑥5月27日(水) 畠先生プログラム(オンデマンド)「求められる社会人基礎力」
- ⑦6月03日(水) 就職セミナー リクナビ、マイナビ
- ⑧⑨6月10/17日(水) ベネッセ振り返り ZOOM人数制限から2組(半分はmanabaで課題)
- ⑩6月24日(水) 総合系学部卒業のキャリアを活かすには(内海先生の授業・そのまま)
- ⑪7月01日(水) 中小企業家同友会(1回にまとめて3人のスピーカー登壇)
- ⑫7月08日(水) マスコミ(20代日経新聞記者OB・徳島新聞記者OB, NHKディレクター)
- ⑬7月15日(水) 大学院で学ぶこと(教員による新大学院の説明・そのまま)
- ⑭7月22日(水) 公務員の仕事①(20代県庁職員OG&OB, 県庁職員の管理職)
- ⑮7月29日(水) 公務員の仕事②(20代吉野川市役所OG&OB, 管理職)